
機能水ニュースレター 号外 R3-1

2021年10月1日発行 一般財団法人機能水研究振興財団 編集担当 堀田国元・本間茂

協力：日本機能水学会・(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: kinousui-zaidan@fwf.or.jp ホームページ: <http://www.fwf.or.jp>

お知らせ

生物安全実践講習会第3回基盤コース 2021年10月13日(水) 京都
食品ニューテクノロジーセミナー 2021年11月12日(金) 東京

<生物安全実践講習会 第3回基盤コースが開催されます>

(公財)ルイ・パストゥール医学研究センターと(一財)機能水研究振興財団の共同公益事業として企画実施してきた生物安全実習講習会は、コロナ禍のために昨年(2020年)8月に東京で第2回基盤コースを実施して以後、延期せざるを得ない状況が続いてきました。そのため、第3回基盤コースの開催も2度延期となっていましたが、9月末日をもって緊急事態宣言・蔓延防止宣言が解除されたことにより下記要領で開催することに決定いたしました。

記：生物安全実践講習会第3回基盤コース

期日：2021年10月13日(水) 9:00~17:00

会場：登録会館大ホール(全国和牛登録協会2階、サイズ：200名収容)

京都市地下鉄烏丸御池駅1番出口1分

感染対策：検温、手指消毒、N95マスク装着、3密回避・十分なソーシャルディスタンスの確保、換気(CO₂測定)

申込み：ルイ・パストゥール医学研究センターのHP(<http://www.louis-pasteur.or.jp/topics/details/20210617.html>)中のウェブサイト<<https://bit.ly/PBF1013B>>にある申込フォームから申込みください。

※セキュリティ上アクセスが困難な方は、homma@fwf.or.jp へご一報ください。

募集定員：32名。

募集締切：2021年10月8日(金)。

受講料：1名2万円

講習資料：申込者には、予習のため予め講習テキストを送付します。

当日運営：本間茂、菊地憲次、才原康弘、藤原功一、守本晃子、清水雅俊

吉澤重克、木ノ本雅通、岩澤篤郎、八木澤守正、堀田国元

プログラム：次ページ参照

午前中にまず座学として、感染症概論、病原体概論Ⅰ(細菌)、Ⅱ(ウイルス)、と特別講義(新型コロナウイルス感染症関連)、昼食休憩を挟んで感染防御概論Ⅰ(感染経路対策)とⅡ(消毒・滅菌)が行われます。その後、実習として、衛生的手洗い、ATPふき取り検査、生菌の顕微鏡観察および个人防护具(マスク)の着脱が行われる。続いて講習会全体に関する総合討論(質疑応答)が行われ、最後に、理解度テスト兼資格認定試験が行われます。

受講対象者は病原体の基礎知識を必要とする人たちです。過去の講習会には機能水関係者がかなり参加されました。

生物安全実践講習会第3回基盤コース

プログラム

時間	区分	科目	演者/講師/スタッフ等
9:00-9:10			開講挨拶: 吉川敏一 生物安全実践講習会運営委員長・ルイ・パストゥール医学研究センター理事長 事務連絡(本日のスケジュール): 本間 茂 生物安全実践講習会事務局長
9:10-9:25	ガイダンス	生物安全講習会概要	堀田 国元 生物安全実践講習会副運営委員長
9:25-9:55	座学 1	感染症概論	木ノ本 雅通 元国立感染症研究所
9:55-10:25	座学 2	病原体概論Ⅰー細菌ー	中野 隆史 大阪医科薬科大学医学部
10:25-10:55	座学 3	病原体概論Ⅱーウイルスー	吉澤 重克 元千葉県家畜衛生研究所
10:55-11:05	(休憩)		
11:05-11:45	特別講演	パンデミックに備える(仮題)	長谷川 学 先生(京都府保健福祉局長)
11:45-12:30	(休憩・昼食)	昼食は事務局にて用意。	
12:30-13:00	座学 4	感染防御概論Ⅰ-感染経路対策-	本間 茂 機能水研究振興財団
13:00-13:30	座学 5	感染制御概論Ⅱ-殺菌・消毒-	岩澤 篤郎 東京医療保健大学
13:30-13:50	実習解説	下記 A,B,C,D	各担当企業(各5分)
13:50-15:50	実習 A	A 衛生的な手洗い	サラヤ株式会社
	実習 B	B ATP ふきとり検査	キッコーマンバイオケミファ株式会社
	実習 C	C 動く細菌の直接観察	株式会社 Mil-kin
	実習 D	D 個人防護具(マスク)の着脱	興研株式会社
15:50-16:00	総合討論	質疑	座学・実習講師
16:00-16:10			修了証授与および閉講挨拶: 堀田国元 生物安全実践講習会副運営委員長・機能水研究振興財団理事長
16:10-16:20			理解度テスト兼資格認定試験の説明、試験用紙配布および事務連絡(事務局)
16:20-17:05			試験実施: 答案提出後 順次解散

第2回基盤コースの様子



実習の様子： マスク装着と細菌の顕微鏡観察

マスクの正しい装着：興研(株)



スマホ顕微鏡で見る細菌観察 (株)mil-kin



実習の様子： 衛生的な手洗いとATPふき取り検査

衛生的な手洗い：
サラヤ(株)



手洗い後の清浄度チェック：
キッコーマンバイオケミファ(株)



生物安全実践講習会 今後の予定

本講習会は、施設内感染対策を念頭に、法令を含めて病原体(病原微生物)とその取扱い技術、感染予防のための衛生管理、感染症発生後の危機管理などについて座学と実習を実施することを基本内容とし、ニーズに応じて4コース(下記)の実施を計画しています。基盤コースに関してはWEBコースも計画中です。

これまでにコロナ禍の中2回(2020年:京都・東京)実施してきた基盤コースの第3回をこの度(2021年10月)開催しますが、コロナ禍の状況をにらみながら、年度毎に基盤コース2回と実践コースA/B、さらに特別コースの開催を計画して行く予定です。直近の計画として実践コースの開催に向けて以下のように準備が進められています。

記: 生物安全実践講習会実践コースB

期日: 2022年1月26/27日または27/28日の2日間。11月から募集開始予定

会場: ニプロ iMEP(医療研修センター) 滋賀県草津市(JR南草津駅徒歩3分:JR京都から18分)

基盤コース: 医療機器、衛生器材、危機・実験室メンテナンス、建築、スポーツ施設などの従事者

実践コースA: 食品施設、介護施設、歯科施設、関係行政機関などの従事者

実践コースB: 大学等のバイオセーフティ実験施設、保健所・検疫所・医療関係施設の従事者

特別コース: 病原体運搬、薬剤耐性菌対策、輸入感染症対策等の従事者

<食品ニューテクノロジー研究会セミナー11月例会>

主催: 日本食糧新聞社食品ニューテクノロジー研究会 担当: 日本食糧新聞社事業本部 中山清美

開催日時: 2021年11月12日(金)13:00~16:30

開催形式: リアルとWEBのハイブリッド

会場: 食情報館(東京都中央区八丁堀2-14-4、ヤブ原ビル日本食糧新聞社内)

アクセス: 地下鉄日比谷線八丁堀(A5出口2分)、銀座線日本橋(B1出口8分)、JR東京駅八重洲中央口12分

コーディネーター: 堀田国元(機能水研究振興財団)

テーマ: HACCP時代の衛生管理と次亜塩素酸水

さまざまな対策が講じられているにもかかわらず、コロナ禍は第5波が沈静化したものの第6波を防ぐ確たる見通しが立っていない状況です。一方、法制化された「HACCPに沿った衛生管理」は、本年6月1日から原則としてすべての食品等事業者による実施が義務付けられました。そうした中、食品の調理加工現場の衛生管理において活用されている次亜塩素酸水(食品添加物殺菌料)は、新型コロナウイルス不活化効果が認められ、コロナリスクの軽減も含めて良好な現場環境に寄与していると思われます。以上を踏まえて、今回の食品ニューテクノロジーにおいて以下の講演が行われます。

1. 食品添加物殺菌料をめぐる課題と進歩: 堀田国元 一般財団法人機能水研究振興財団
2. HACCP時代における次亜塩素酸水の応用～食品に潜む生物的危害対策～
金盛 幹昌 一般社団法人 日本電解水協会
3. ダイヤモンド(BDD)電極を用いる連続式リアルタイム有効塩素濃度測定装置の開発
宮村和宏 (株)堀場アドバンステクノ

* 参加ご希望の方は、堀田国元(kinousui-zaidan@fwf.or.jp)へ連絡ください。